

環境総合計画の推進を担う 「環境アニメイテッドやお」

平成22年8月24日(火)

八尾市経済環境部環境保全課

岡本 由美子

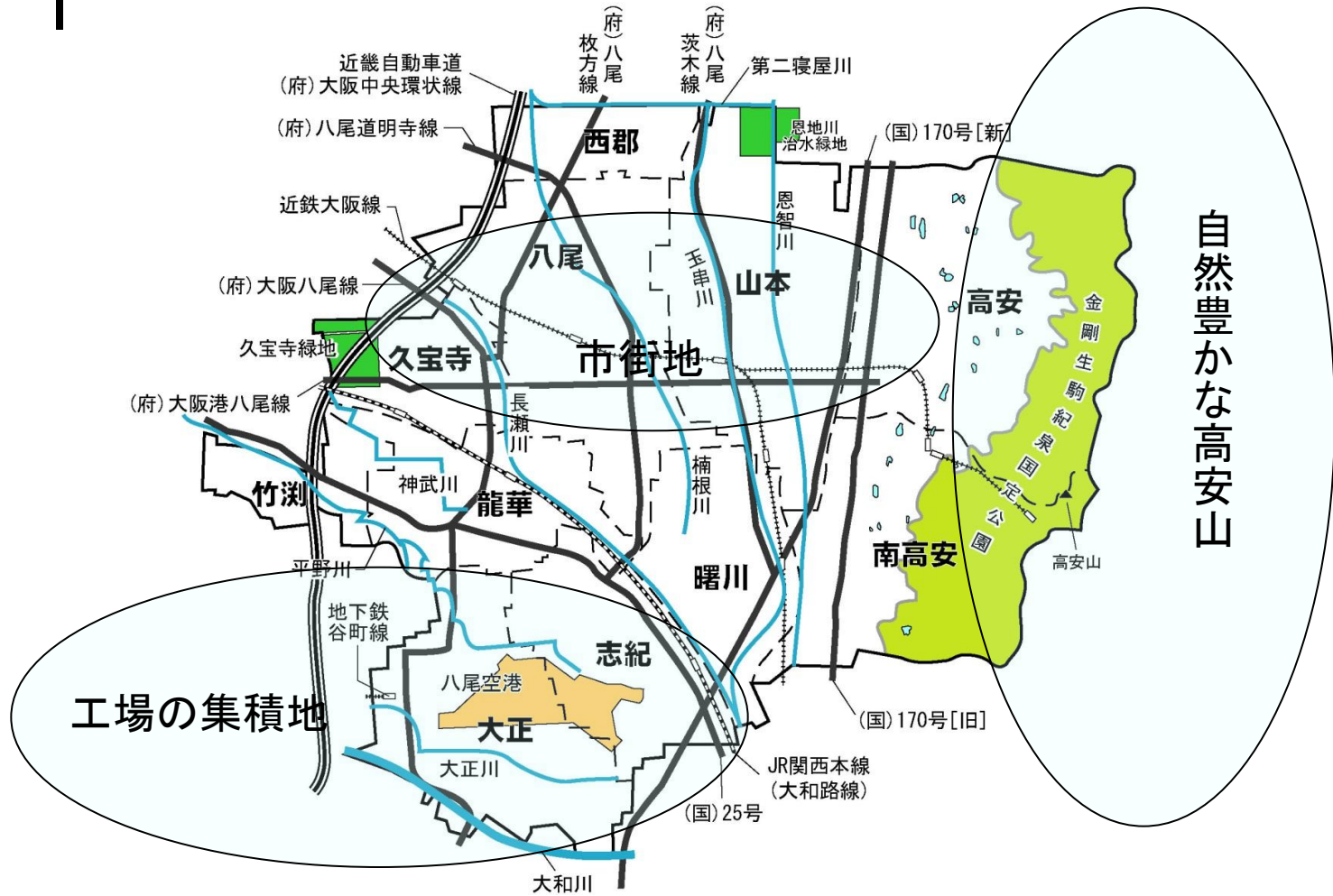
八尾市ってどんなまち①



人口 271,985人
世帯数 118,497世帯(H22.7末)
面積 41.71平方キロメートル

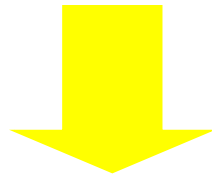
- 1 河内音頭のふるさと
河内音頭の発祥地
- 2 歴史遺産のまち
歴史の宝庫「高安山」
- 3 ものづくりのまち
製造品出荷額は府内3番目

八尾市ってどんなまち②



「環境アニメイティッドやお」とは

- 環境にやさしいまちづくりに貢献しようと、市内の企業、学校及び行政が中心となって、自主研究グループとして発足（平成14年12月）
- 環境教育の重要性（次の世代のために）
- 環境問題等に取り組む多くの人たち（市民・企業・学校・行政）とのつながりを深めることが重要



八尾市環境総合計画に示す望ましい環境像
「緑とうるおいのある、快適な環境とふれあえるまち、やお」
の実現に向けた活動へ・・・平成16年12月協議会へ

「環境アニメイテッドやお」の理念

- I. 地域の自然環境や人間的な暮らしを守る理念を広め実践する。
- II. 企業の連携で“循環型社会のまち やお”をめざし、同時に自然環境や水環境を改善する。
- III. 多くの人(行政、市民、学校等)と連携し環境と共生する社会をめざす。



市民、企業、行政、教育のパートナーシップによる
環境活動の計画と実践

「環境アニメイテッドやお」の 活動イメージ



市民

教育機関

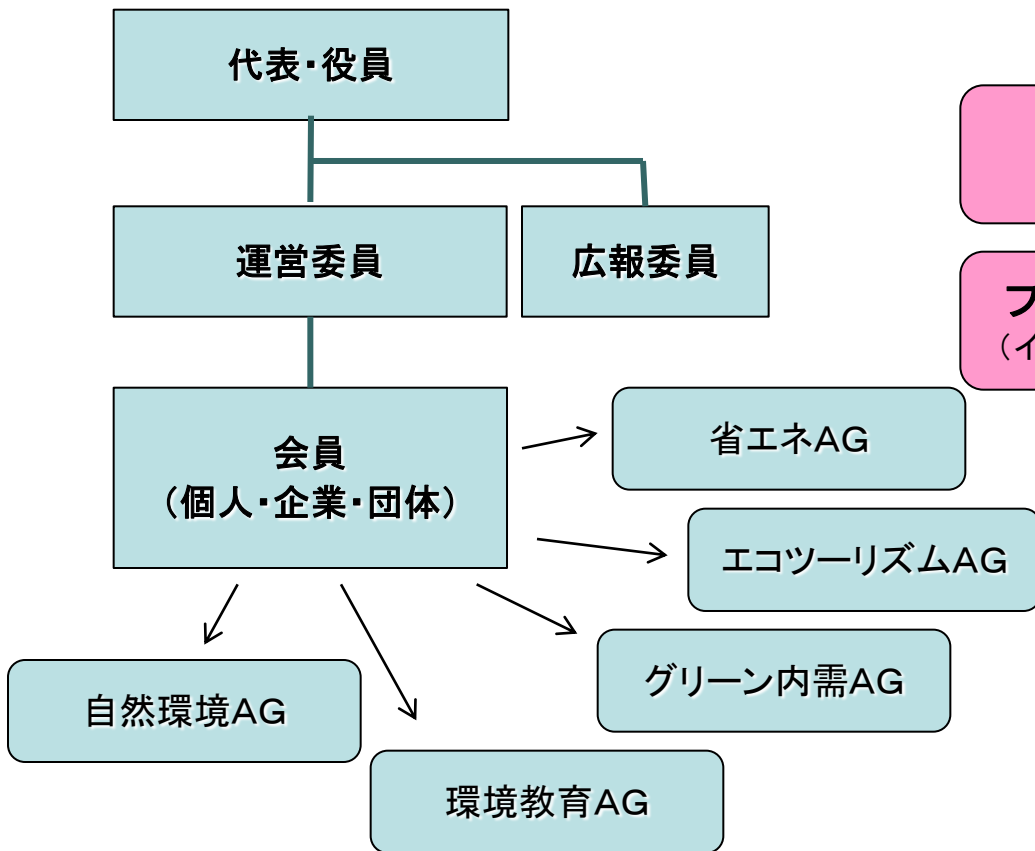
行政

各種奉仕団体

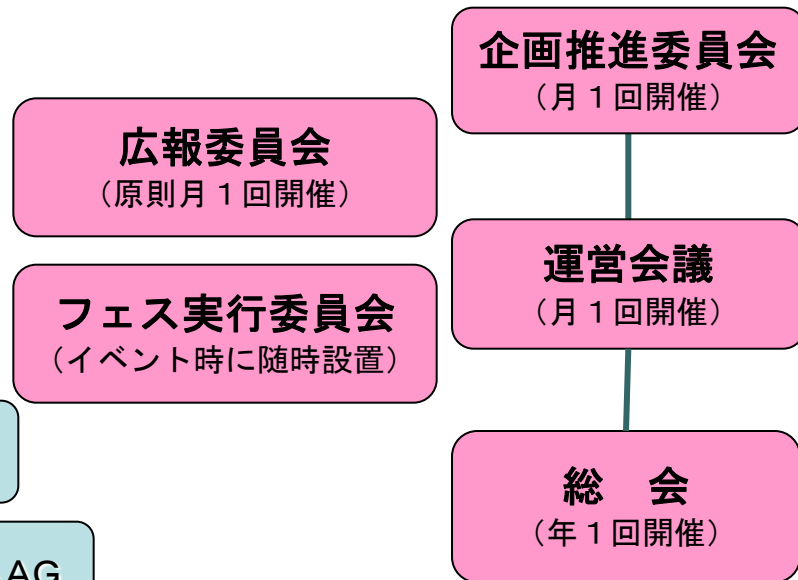
企業

「環境アニメイティッドやお」の 組織と会議

組織



会議

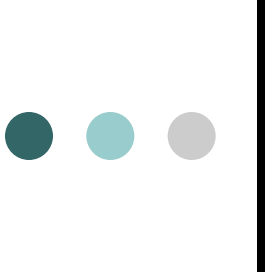


会員数(平成22年3月末現在)	
市民会員	55名
市民団体会員	21団体
事業者会員	38事業所
教育機関	2団体
行政	1団体
合計	117会員



主な活動をご紹介します


- いきいき八尾環境フェスティバルの開催
- 生物多様性保全と自然再生定期活動
- 市民環境講座
- 楽しい環境保全活動支援事業
- 高安の森自然楽校・八尾ふるさと歴史楽校
- 学校・地域連携ビオトープづくり
- KES認証取得の支援



パートナーシップの構築に向けたイベント

- ① イベントの開催を通じて、広く“緑とうるおいのある、快適な環境とふれあえるまち、やお”づくりの必要性を訴える。
- ② “緑とうるおいのある、快適な環境とふれあえるまち、やお”の実現に向けて、市民・事業者・行政・教育機関の連携の場づくりをめざす。
- ③ 各主体の対等な連携による参加で実行委員会を結成し、実行委員会の活動を通じて交流を深めネットワーク化をめざす。
- ④ 知恵や資金・労力をそれぞれの団体・個人から持ち寄り、それぞれの特技を結集し、企画・運営することで、今後のネットワークの性格や方向性を決定づける。

いきいき八尾環境フェスティバル

- 実行委員会を立ち上げ毎年10月に開催
- 2009年度は約1,500人が来場
- 大阪経済法科大学のキャンパスを利用し、学生や労働組合、NPOなど多くのボランティアが集結
- 毎年来場者数が増加 



だれもが参加ができる企画を



舞台での催し



多くの出展

ふれあい池のドビ流し



太陽光実験教室



生物多様性保全と高安山自然再生定期活動

高安山は八尾と大阪全体の宝物！

- 市街化調整区域により開発を免れた里山
- 急斜面な高安山
 - 貴重な自然と歴史が守られる
- 貴重な自然と貴重な歴史
 - 数百のため池と古墳
- 貴重な生物が棲む里山
 - ・ ニッポンバラタナゴが生息
 - ・ ホタルが3種生息



心合寺山古墳



愛宕塚古墳



ニッポンバラタナゴ



ゲンジボタル

● ● ● | 生物多様性保全推進支援事業

- 「ニッポンバラタナゴの保護を通じた八尾市の生物多様性保全事業」
- 平成20年度、21年度の2カ年で実施
- 市内の4カ所のため池にて調査研究を実施。繁殖につながる。

ヨシノボリがいなければ・・・



ドブ貝がいなければ・・・

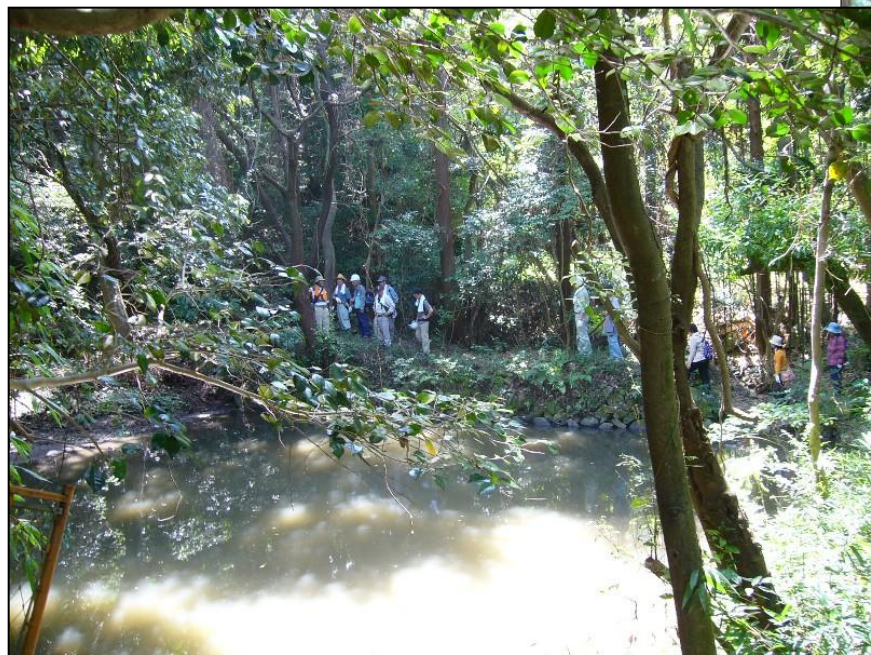


ドブ貝は育ちません・・・



ニッポンバラタナゴは育ちません

高安山自然再生定期活動



- ニッポンバラタナゴやホタルが生息できる環境をつくるために、間伐や下草刈り、沢の整備を行っています。

● ● ● | 最後に～組織の維持と発展に向けて～

- 思いを形にするためには、活動する人と活動を支える人が必要！
- 行政が事務局を持つことの課題
- 協議会の運営費の確保
- 協議会の活動の見直し、それぞれが役割の再認識をする中で、発展できる組織へ
 - 環境総合計画全般の推進組織へ
- 新たな課題を受け止め、新たな活動を生み出す
 - 今年度は、地球温暖化対策を強化

